

# 学道一如

発行  
小樽双葉高校  
生徒会通信  
2024年7月25日  
第28号

## 「喜び紡いだ」 双葉祭

7月19日の本祭は、吹奏楽の演奏、書道部によるステージタイトル幕制作動画紹介、クラスTシャツ紹介、クラスステージ発表と続き、熱演に大きな歓声と拍手が寄せられた。



吹奏楽部の演奏に合わせて「マツケンサンバ」を熱唱する学校長と副校長。



クラスTシャツ紹介はランウェイを歩き、アピール。最後は全員ステージへ。



3-3劇「真実はいつも一つ！」  
名探偵コナンの謎解きをコミカルに演出しました。(左写真)

### 双葉祭の成績

- Tシャツ
  - 1位 3-1
  - 2位 1-1, 3-3
- ステージ
  - 1位 3-3
  - 2位 3-2
  - 3位 3-1
- 旗コンテスト
  - 1位 3-3
  - 2位 2-3
  - 3位 3-1, 3-2
- 展示グルメ
  - 1位 3-2
  - 2位 3-3
  - 3位 2-3
- 展示エンタメ
  - 1位 3-1
  - 2位 3-4
  - 3位 1-1
- 総合
  - 1位 3-3
  - 2位 3-1
  - 3位 3-2



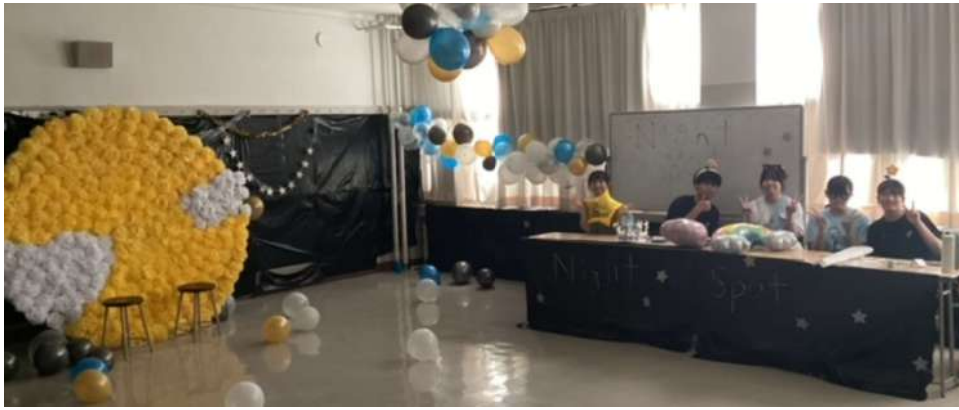
3-2ミュージカル「アラジン」  
吹奏楽の生演奏で演じ踊り、観客を魅了しました。衣装も素敵でした。古田先生も大活躍でした。(左・下写真)



「アラジン」のフィナーレ



「真実はいつも一つ！」の一場面



1年1組 Night Spot (黒板アート、フォトスペース)



3年1組 謎解きの館 ポップコーン



1年3組 SUPER 1-3 WORLD (縁日)



1年2組 ウォーリーを探せ! (スタンプラリー)



旗コンテストベスト3 3年3組



2年3組



3年1組



3年2組

**会長コールに涙**  
 ケンプ菜多理ジェーンさん  
 大成功に終わった双葉祭。閉祭式で涙の挨拶をした生徒会長のケンプ菜さんに、どんな思いが去来したのか聞いた。  
 「学校祭準備では後輩の育成に力を注ぎました。性格も経験も違う一人一人に一から教える難しさを実感しました。でもみんな頑張ってくれて、学校祭を無事終えることが出来、最後のミーティングでは泣いている子もいました。達成感があったのだと思います。後輩には疑問を持てる人になってほしい。自分の意見を持って、先生方に負けずに主張できるように成長してほしいです」と語ってくれた。

# 本当に出逢えてよかった。人生の宝物。

## 優しく心配りできる人

ソフィーは能登真凜さん(21)宅にステイした。能登さんも米国でソフィーの家にお世話になった。以下能登さんのお話。ソフィーは「本当に優しく、よく周りを見て配慮できる子です。何かについて「どうする?」と聞くと、「家族にとつてどちらが良い?」と自分の意見より



サウスパーリントン  
高校受入プログラム  
(7)



ソフィー 能登さん ショーン

## 洞爺湖の島、京都、山、食べ物、連絡を取り合いましょう

■Sophie Smith (ソフィー・スミス)

1. I enjoy reading, ultimate frisbee, yoga, and cooking!
2. I wanted to travel and learn more about Japan's unique culture.
3. I loved the island in lake Toya and Kyoto! I especially love the mountains and the food.
4. Thank you for welcoming us. You showed interest in us and our presentations everyday. You are cool, contact us lol.

## たこ焼きと味噌汁OK

ソフィーは乳製品アレルギーな上に、自ら肉を食べないことを選択していてベジタリアンだったので、食事は大変でしたが、アレルギーに配慮したたこ焼きを出したら、美味しく食べました。また、味噌汁も好んで飲んでいました。



では一緒に忍者の服を着て楽しみました。車内や食事中は常に家族で会話をしていました。

## 双葉の郷里

先日、オタモイ地蔵尊に関する情報交換会というものに行ってきました。現在、地蔵尊は崖崩れで参拝が出来なくなっており、ニトリさんのオタモイ開発計画には残念ながらオタモイ地蔵堂の整備は含まれていなかったようです。

今回の情報交換会で私の感じたオタモイ地蔵尊の問題は二つほどあります。一つはほとんど地元の人間しか関わっていないというものです。子宝地蔵尊と呼ばれ、毎年数百人、多い時は一万人ほど来ていたのにも関わらず、情報交換会に来た小樽市外の方はかなり少なく、道外に至っては一人もいませんでした。それだけこの現状が認知されていないということでしょう。しかし、裏を返せば、周知さ

## オタモイ地蔵尊保存の提案

されれば、現状を打開する術はいくらでもあります。まずは認知度を上げることが課題となるでしょう。

もう一つオタモイ地蔵尊には重要な課題があります。それは移転問題です。地蔵堂は現在崖崩れの危険に晒されていて、移

転するかどうかも議論になっていきます。

私はこれらの課題に対して提案を考えてみました。それはクラウドファンディングの返礼品で地蔵を支援者に贈るというものです。地蔵尊を軽んじていると思われてしまったら申し訳ありません。しかし、この提案に

は二つ良い点があります。

一つ目は知名度の向上を狙えることです。地蔵を返礼品にするというある種冒険的とも思える考え方ですが、誰もやらないであろう発想なのは確かです。さらに、地蔵を配ることで支援者の方々にも当事者意識のよう

なものを与えることができるのではないのでしょうか。写真

の中の地蔵よりも本物の地蔵を持つていた方がより印象に残ります。

二つ目は管理の問題解決です。三千体以上の地蔵があるオタモイ地蔵尊ですが、代々管理をしてきた村上さんが亡くなってしまった、守り手がいないことは事実です。地蔵を返礼品にするこ

とで、全国いろいろなところで地蔵尊を守ることができると、万が一があっても地蔵尊は残ります。さらにこの活動を通して、残りの地蔵尊の受け入れ先が見つかる可能性もあります。私はこの提案を通して、地蔵尊を守るためにはどうしたらよいかという問いかけをしたいです。今回のような提案は最終手段と言えるでしょう。私自身、オタモイに地蔵を残して守っていくことが一番良いと思います。しかし、地蔵を守るという意味をもう一度考えてほしいです。捨ててはいけないこだわりはありますが、オタモイ地蔵尊を取り巻く問題にとつてのはこのこだわりとは何でしょうか。何が何でも地蔵尊を後世に残すというところが最大のこだわりではないかと私は思うのです。(天塚翔太)

## 思い出詰まったオルゴール

放課後に留学中のみんなでほぼ毎日遊びました。私とソフィーは佳貴とショーンと遊ぶことが多くて、ショーンは私の家の猫が大好きで、よく一緒にいました。4人で留学生の話をしたり、ごはんを食べたりが楽しかったです。

私が一番嬉しくて思い出になったことはソフィーとショーンの二人からの贈り物で、本当にかわいくて綺麗なオルゴール(写真)をもらったことです。音



は私の好きな人生のメリーゴーランドでした。宝物です。いつも見て、いつも聴いているし、頑張りたいときはそれを聴きます。すべての思い出がその中にあるような気がして、このオルゴールは私の一部です。あとは帰国する前日に銭函へ行ったことです。天気が良いと、景色が今でも思い出せるくらい綺麗でした。少しずつみんなが帰っていくのが寂しくて、またいつか会いたいです。本当に逢えてよかったです。